

3 特集

授業が進化！ 学びが深化！ 「1人1台端末」最前線

21 For School Section

- 22 新課程に向けて描く「学校教育デザイン」
静岡県立沼津工業高校
- 26 — 疑問や課題を解決！ 実践につながる！ — 新課程レポート
「総合的な探究の時間」に向けた準備
- 30 指導変革の軌跡
岡山県・私立倉敷高校
- 34 輝く学年団を訪ねて
沖縄県立開邦高校 2学年団
- 38 学校危機管理 基礎講座
テーマ 教職員の不祥事

41 For Teacher Section

- 42 発問・課題設定をキーに見る 主体的・対話的で深い学び 授業実践
- 42 生物 宮城県古川黎明高校 千葉美智雄
- 46 英語 東京都立福生高校 内野良昭
- 50 SDGsの視点で見る大学の学び
- 50 目標3 群馬大学 理工学部
物質・環境類 応用化学プログラム 食品生物科学研究室
- 52 目標16 上智大学
文学部 哲学科
- 54 これからの進路指導のための 世の中トレンド解説
トレンド・ワード デザイン思考
- 58 誌上で見学 学びのnext
異年齢でのプロジェクト学習 福岡県・私立北九州子どもの村小学校・中学校

-
- 巻頭 未来を描く！ 創る！ イノベティブな生徒たち
ワンズ 村野佑恭さん(5年生) 横田蒼太さん(5年生) 渡邊 澄さん(5年生)
中島紀穂さん(5年生) 花田優太さん(5年生)
東京都立南多摩中等教育学校
- 40 データから考える！ 指導のnext
ピックアップデータ ベネッセコーポレーション「『就労力』調査」
- 60 Reader's VIEW

<https://berd.benesse.jp>

本誌記事は、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイトでもご覧いただけます。

印刷製本／(株)協同プレス 編集協力／(有)ペンダコ 執筆協力／二宮良太、長谷川敦 撮影協力／竹内洋平、筒井岳彦、ヤマグチイッキ

※本文中のプロフィールはすべて取材時のものです。また、敬称略とさせていただきます。 ※本誌記載の記事、写真の無断複写、複製及び転載を禁じます。 ©Benesse Corporation 2022

特集

授業が進化！ 学びが深化！

「1人1台端末」

最前線

多様な子どもたちを誰1人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境の実現を目指す「GIGA スクール構想」。その方策の1つである、児童生徒1人につき1台の端末（以下、「1人1台端末」）の整備が、コロナ禍を受けて前倒しされ、2021年7

月末時点で、小・中学校の学習者用端末1台あたりの児童生徒数は1.0人となりました（*1）。高校における「1人1台端末」の整備状況は現在、地域や学校によって異なりますが、21年12月末の文部科学省の通知（*2）に「高等学校段階においても1人1台の学習者用コンピュータ端末環境を早急に整備することが必要」とあるように、整備のスピードは速まると予想されます。指導や支援の幅を広げる可能性を持つ「1人1台端末」。そのツールを、教師は自校や自身の教育活動にどのように生かすとよいのでしょうか。今号の特集では、授業での活用を中心とした先進事例を交えながら、生徒の学びを深める、「1人1台端末」の利活用の今とこれからについて考えます。

VIEWnext 編集部 統括責任者 柏木 崇

P.4 課題整理

高校における「1人1台端末」の現状

P.7 実践事例1 群馬県立桐生高校

「1人1台端末」で教育活動の質を高めるとともに、広報活動にもICTを効果的に活用

P.11 実践事例2 愛知県・私立杜若高校

答えが1つではない問いを投げかけ、生徒間の「共有」を活性化させる

P.15 実践事例3 岡山県立高梁高校

様々な教育活動で端末を利用し、学校ぐるみでICT活用のスキルを向上

P.19 本特集テーマのnext

「個」と「集団」の一体的な学習を実現し、生徒が自ら学びの世界を広げる、次世代の教育へ
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議委員
東京都・私立広尾学園中学校・高校 医進・サイエンスコース統括長 木村健太

*1 文部科学省「端末利用状況等の実態調査（令和3年7月末時点）（確定値）」

*2 文部科学省「GIGAスクール構想における高等学校の学習者用コンピュータ端末の整備の促進について（通知）」